

「2023なかの東北絆まつり」等の開催概要について

1 趣旨

中野区では、東日本大震災の翌年から10年にわたり、被災された地域への継続した復興支援のため、「東北復興大祭典なかの」を開催してきた。そして、昨年度は、東北各県をさらに応援するとともに、相互の文化交流、地域振興に努めることをコンセプトに「なかの東北応援まつり」と名称を変更して開催した。

今年度は、これまでの開催趣旨を引き継ぎ、東北各県の特産品・グルメ品の販売や観光・文化などの魅力の発信を通じて、12年間築いてきた東北各県と中野区の「絆」をより一層深めていくとともに、中野区民や区内事業者の参加を促し、中野の賑わいの創出に寄与するイベントとして開催する。

2 祭典名及び主催者

- (1) 「2023なかの東北絆まつり」（以下「絆まつり」という。）

副題：ねぶたをはじめ、東北6県のお祭りが大集合！

主催 なかの東北絆まつり実行委員会

※今後、復興から応援、応援から絆へと東北各市と中野区の間をさらに発展、連携強化させていくという趣旨で、名称に「東北絆まつり」の名称を使用し、「なかの東北応援まつり」から名称変更して開催する。

- (2) 「震災復興祈念展」

主催 中野区

3 開催日時

2023年10月28日（土） 午前10時～午後8時
29日（日） 午前10時～午後5時

4 会場配置及び開催内容

- (1) 中野サンプラザ広場（A会場）

式典、ステージ、特産品販売ブース

- (2) 中野駅北口バスロータリー横（B会場）

特産品販売及びグルメブース

- (3) 区役所1階及び区役所前広場（C会場）

特産品販売及びグルメブース、子どもコーナー

※震災復興祈念展

震災の記憶風化防止コーナー、東北各県及び東北絆まつり関係市の観光PR、自衛隊被災地救援活動紹介コーナー、防犯・交通安全コーナー等

- (4) 中野四季の森公園イベントエリア（D会場）
東北絆まつり関係市主要行事のPR・演技、ねぶたの展示
震災復興祈念展関連：起震車体験、防災意識啓発コーナー等
- 5 パレード（ねぶた運行、東北絆まつり、黒石よされ）
中野四季の森公園北側直線道路を交通規制し、実施する。
28日（土）：午後5時～午後6時30分（ねぶた運行：午後5時40分～）
29日（日）：午後1時～午後2時20分（ねぶた運行：午後1時30分～）
- 6 絆まつりの執行体制
絆まつりは、実行委員会に分科会を設置し、企画立案・運営を掌る。
なお、中野区は実行委員会の事務局として、絆まつりの全体調整を行う。
- 7 区民参加促進や運営体制強化に向けた取組
 - (1) 区民や区内事業者の参加促進
 - ア 各ステージやイベント等に区民や関係団体等の参加を募っていく。
 - イ 関係団体等に働きかけ、ボランティア参加を促進していく。
 - ウ この他、今後も実行委員会や関係団体等と協議しつつ、工夫を重ね、区民参加の促進を図っていく。
 - (2) 自主財源確保強化に向けた取組
 - ア クラウドファンディングの実施
実施主体：なかの東北絆まつり実行委員会
目標金額：50万円
募集期間：9月14日（木）～11月12日（日）
リターン：御礼メールや飲料等
 - イ 広告協賛
関係団体等への働きかけなどを通じ、広告協賛の確保に取り組んでいく。
 - ウ この他、今後も実行委員会と協議しつつ、工夫を重ね、自主財源確保強化を図っていく。
- 8 東北各県・市町村との交流連携強化に向けた取組
これまで「東北復興大祭典なかの」や「なかの東北応援まつり」を通じて関係を構築してきた自治体については、引き続き、必要な協議等を通じて、相互の交流や連携などの強化に努めていく。
なお、本年8月に区として青森県青森市、黒石市、宮城県仙台市、山形県山形市へ訪問し、今後の交流連携強化等を協議、確認した。今後、他の関係自治体に対してもこうした取組を継続的に行う。
- 9 広報・周知について
ポスター、チラシ、区ホームページ、区報、SNS（X、Instagram）などにより行う。